

【青葉区】平成28年第2回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

| | |
|---------|---|
| 開催日時 | 平成28年6月21日(火) 午後2時30分から午後4時まで |
| 場 所 | 青葉区役所4階 401～403会議室 |
| 出席者 | 【座 長】山下正人議員 【議 員：6名】青木マキ議員、大貫憲夫議員、行田朝仁議員 中山まゆみ議員、藤崎浩太郎議員、横山正人議員 |
| | 【説明局員（青葉区）：32人】 小池恭一 区長、大野敏美 副区長、 関谷寿男 青葉消防署署長、 勝島聡一郎 福祉保健センター長、 小嶋哲夫 福祉保健センター担当部長、 楨重善 青葉土木事務所長 ほか関係職員 |
| 議 題 | (1) 「平成28年度 青葉区に係る予算のすがた」について (2) 平成28年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業 執行状況について (3) 青葉区内の主要事業について |
| 発 言 の 旨 | 行田議員 児童虐待防止事業について、先日も区役所の方に非常にいい対応をしてもらいありがたかったのだが、残念なことに認知度が低いように感じる。世間一般の人が近所で何か児童虐待を疑うようなことを聞いたり感じたりしたら、ここに相談してねというように、もう少し広報できないものか。 |
| | 樋田こども家庭支援課長 区民の皆さんへのPRは、非常に重要だと思っている。広報や、子ども家庭支援相談など、できるだけPRはしていくよう、努めている。 |
| | 行田議員 やってもらっているのはわかるので、あまり知られていないということもあり、工夫してもう少し広げてもらいたいと思う。 |
| | 行田議員 徘徊ネットワークづくり事業について、今回も協力機関の拡充に取り組んでもらっているが、最終的にこのようにしたいという目標となるものの絵のようなものはあるのか。 |
| | 室山高齢・障害支援課長 徘徊ネットワークについては、県域内、市内18区で取り組んでおり、それぞれの区でネットワークをつくっている。実際に、県域で徘徊の方の検索をする場合は、県からファクスが来たり、警察から連絡があったりということで対応しているが、最終的なところというのは、まだゴールが明確に決まっているというわけではない。できるだけ多くの方に徘徊高齢者の存在をわかっていただいて、普段の暮らしの中で、業務の中で協力をいただくという、まちづくりのようなところを、今進めている。 |
| | 行田議員 横浜ではないが、防災訓練のような徘徊の方の訓練がもう始まっている。そのようなことを参考にして、横浜ならではの徘徊の対策を何か一歩でも二歩でも前に進めていくべきではないかと思っている。 |
| | 室山高齢・障害支援課長 徘徊のことをまだご理解いただけていないことも多いので、行田議員からお話があったようなことも含めて、進めていきたい。 |

| | |
|-------------|--|
| 行田議員 | <p>特別避難場所訓練支援、災害時要援護者地域支えあい事業について、避難訓練に参加したいけれども連絡が来ないという、障害のある方のご意見があったということを知っている。地域でやる話だとは思いますが、ただ一方で、支えあいカードの登録促進をやるなど、いろいろな形で役所から手を差し伸べるという形でやっている。</p> <p>やってもらっているいろいろな工夫を否定するものではないが、参加したいという気持ちのある方が何とか参加できるように、地域の方も運営が大変だが何とかかならないものかなと思っているがどうか。</p> |
| 室山高齢・障害支援課長 | <p>行田議員からお話があり、社会福祉協議会へも相談をし、まずは障害団体の皆さまにご意見を聞いてみようということになった。</p> <p>中には、支えあいカードに登録していただいている障害のある方もいらっしゃると思うので、そのような方を中心に、地域の拠点、自治会と話し合いながら、補てん的なところからスタートができればいいなと考えている。</p> |
| 行田議員 | <p>災害時のペット対策について、拠点においては、何拠点中何カ所でやるようになってきているのか、どれぐらいの広がりを見せているのか、聞きたい。</p> |
| 鈴木生活衛生課長 | <p>地域防災拠点の啓発は、青葉区において41拠点中、昨年度は5つの拠点で訓練を実施している。それ以外のところでも、自治会に説明に上がるなど、少しずつ増えているような状況となっている。</p> |
| 藤崎議員 | <p>全体的なスケジュール感について、例えば青葉ブランドの認定委員会で、現在選定中や6月決定予定、「なるほどあおば」のデータ提供開始が6月などあるが、この区づくり市議会議員会議までに間に合うような形でやってもらえると我々もまた議論しやすくなると思う。</p> <p>すべてをこの日程に合わせるのはなかなか難しいと思うが、特にこの「なるほどあおば」の情報提供などはできると思うので、この会議前にある程度示してもらい議論できるようにしてもらいたいと思うがいかがか。</p> |
| 大野副区長 | <p>「なるほどあおば」については昨日ホームページに上げさせていただき、内容は「なるほどあおば」の統計データに準じるような形となっている。</p> |
| 藤崎議員 | <p>先ほど念のために見てきたが、見つけられなかったようで、失礼した。その辺は、ある程度議論しやすいようにしてもらえるといいと思う。</p> <p>あとは、オープンデータに関してデータの更新が12月に予定されていて、提供内容の充実・検討が7月から3月となっている。金沢区あたりは先行して取り組んできているわけだが、青葉区としては今後どこまで考えていくのかというのがまだ余りはっきり見えていないと思う。その辺の方向性など今何かあれば、教えていただきたい。</p> |
| 川合総務課長 | <p>今回、つい昨日ではあるが、第1段階としてまずは「なるほどあおば」の統計データの情報を掲載させていただいた。</p> <p>今後はこれを更新していくとともに、これに加えてどのようなデータがあれば区民の皆さんが利用しやすいかといったあたりのニーズ等も把握しながら、提供内容を検討していく。</p> <p>金沢の育なび.netのように、ある意味、区役所が検索システムを開発して、データ活用の見本となるようなサイトを立ち上げるというやり方がよいのかどうかも含めて、利用者の方のニーズを見極めながら、今後検討させていただきたいと考えている。</p> |
| 藤崎議員 | <p>ちなみにニーズ把握というのは、どのようにするのか。</p> |
| 川合総務課長 | <p>まずは、区内で所管課との意見交換と関係のところからお声をいただきながらということになるが、今回ホームページにもアップするので、ある意味こういったものが欲しいというような区民の方の声もお寄せいただけるのではないかと考えている。</p> |

| | |
|----------|---|
| 藤崎議員 | オープンデータベースなどは政策局でやっており、青葉区民会議等でも確かオープンデータの講座をやっていたと思う。そういったところで色々ニーズがあるはずなので、ヒアリングやアイデアソンのような取り組みも青葉区としてはできる地域ではないかと思っている。検討して、ぜひ実施してもらいたいと思う。 |
| 藤崎議員 | 区民文庫サロンの設置について、関連施設の視察が4月に行われているということだが、具体的にどの辺の視察を行ったのか教えてもらいたい。 |
| 川合総務課長 | 民間のいわゆるカフェ的のところや、カフェとブックストアが融合されているところなどの民間施設を視察した。 |
| 藤崎議員 | 飲食が可能というのがこれまでも示されてきたと思うので、そういった視点からカフェやブックカフェのようなところを視察したのだと思う。年内ということなので12月までで、予算的には200万円ということで、どこまでレイアウトに使うのかなと思うのだが、検討をしている最中だとは思いますが、市民の方々にとってどのように利用しやすいかというニーズの調査、把握は行っているのか。 |
| 川合総務課長 | 直接的にニーズ調査という形では行っていないが、来庁者の方にとって居心地のよい空間ということを目指して、検討していきたいと考えている。 |
| 藤崎議員 | おもしろいと思うし、テーマだけ見ると期待される方も多いと思うので、期待にこたえるように取り組んでもらえればと思う。 |
| 大貫議員 | 中小企業支援の立場から、青葉ブランドの認定はすごくいいと思う。区内なり横浜市全体の商店街の支援については、商店街全体という視点もあるが、個店に着目した視点も大事だと思っている。力を持っている個店がいっぱいあって、それが全体的に結びついて商店街もよくなるということなので、その辺が非常に大事だと思っている。 平成26年に青葉区として中小企業の実態調査を委託してやっていると思うが、この結果がよくわからない。どのような結果が出たのか、そこからどのようなことが引き出せるのかということについて、急で申しわけないが次の会議のときに言ってもらいたい。せっかくやった調査が我々にもわからないし、そのような中でどうやって個店を引き出していくかという考え方なのか。答えていただきたい。 |
| 功刀地域振興課長 | 調査については、今までの経済局等での調査結果をもとに青葉区がどのような状態だったかというのを分析したような調査にはなっている。 ただ、そこから見えてくるものが余り大きくはなかったという点で、今後もう一度調査結果も踏まえ、各商店街、また中小企業に働きかけることをしてはいきたいと思っている。 特に商店街については、毎月1回、商店街との連携の会議というのを設けており、打ち合わせ等もしている。 |
| 大貫議員 | 調査をしたのだから、調査結果を出してほしい。その結果、どのような判断をしたのかということをお答えしてもらいたい。 |
| 功刀地域振興課長 | 次回の会議でご報告いたします。 |
| 大貫議員 | 商店街は大事だけれども、個店が大事だということで、経済局もその辺に今着目し始めている。その個店の視点が大事だという1つのあらわれとして、今やっている青葉ブランドは本当にヒットだと思っている。 |
| 小池区長 | 私も、大貫議員と全く考え方は一緒だ。青葉にはいいお店がたくさんあるので、そういった個店を通じて、それが街全体を引っ張っていくということは十分できると思う。そのような意味で青葉ブランドもやっているし、商店街も大貫議員が言われるとおり、マスで見ると調査をしても同じような結果しか出ないということになりがちなので、個店へ視点を変えるというようなことを頭に入れながら考えてみたいと思う。 |

| | |
|---------|---|
| 大貫議員 | <p>商店街だけではなく、青葉区にはさまざまな能力を持っている人がいっぱいいる。特にいわゆる定年退職された方が、次にどうしようかといったときに、その支援というのが非常に重要だと思う。その積み重ねが、青葉区の経済的発展に結びつく。</p> <p>その辺の実態を調査し、要求などを調べて、支援することが必要だと思う。特に青葉区は、知識層も多いので、商店街でなくても、そのような視点が大事だ。</p> |
| 小池区長 | <p>その点も、大貫議員と全く一緒だ。</p> <p>いわゆる団塊の世代が中心となる知識層というか、退職された方を含めて、非常に有為な人材がたくさんおられる。その方たちが活躍しないと、その方たちの健康にとってもよくないし、地域にとってもよくない。それを子育て等、いろいろなことにも還元できると思うので、具体的な施策にどのように結びつけていくか、実は今議論している。何か形になりそうになったら先生方にもご報告させていただきたい。</p> |
| 大貫議員 | <p>資料には女性の活躍ということも書いてあるが、これも大事だと思うので、やはり青葉区の町が明るくならないといけないと思う。</p> <p>青葉区の特徴は、やはり農だろうと思う。資料に、あおば地産地消の推進の記載があるが、例えば青葉区の独自産業的に、農家と知識を持った人が結びついて、さまざまな第6次産業的なことを生み出すことも必要だと思う。</p> <p>そのような意味では、農家の存在というのをもっとクローズアップする必要があると思うがいかがか。</p> |
| 小池区長 | <p>おっしゃる通りだと思う。今年度の予算説明の時は、区役所で農産物を売るような取り組みを始めたいということ、議員の皆様方にご説明したと思う。その他に、最近JAとの関わりも増やし、今までよりは随分ご意見を聞いたり、聞かれたりという機会を増やしている。農家の方も沢山いらっしゃるので、その辺のご意見も直接伺いながらやっていきたいと思っている。</p> <p>ただ、まだ具体的な事業にはなっていないので、方向性としては考えているので、少し時間をいただきたい。</p> |
| 大貫議員 | <p>緑化フェアのことについて、やはり中小企業との関係で、青葉区には農家で花卉をやったりする方がいっぱいいるので、農家との結びつきというのも考えてほしい。これは、要望だけしておく。</p> <p>もう一点、私の家の前は4号線で、この間樹木の調査をやってくれていた。木が危ないなど、切ってくれたのはいいのだが、その後どうするのかを聞きたい。</p> <p>それから、私の前のところの街路樹の植栽マスなどは、30年全然植えられていない。どのくらいの期間放置されているのか調べてみてもらいたい。潰すなら潰してしまう、もしやるのだったら緑化フェアのときに小さい花壇にするなど、植栽マスだけ残っていてそこに何もされていないということだと、せっかくつくった街路樹が生きてこない。青葉区は街路樹がいい町なので調べていただきたい。</p> |
| 榎土木事務所長 | <p>今議員が言われたように、街路樹の根にキノコが生えてしまって、そのままにしておくと危ないものを優先して、ここ数年伐採してきた。</p> <p>空マスになっている場所がだいぶあり、来年のフェアでは、なるべくその部分も活用して取組をしたいとは思っているが、植栽マスを潰す、潰さないというのは、その道路全体の街路樹の再整備の計画をきちんと立ててからでないといけないので、今のところそのままの形となっている。</p> <p>さらに言うと、そこに伐採した後の根株が残っている現場が多い。実は伐採する費用よりも根株を撤去する費用が莫大にかかるので、そのような中途半端な状態で区民の皆さんにお見せしている状況になってしまっている。</p> <p>土木事務所としては、特に駅に近い街路の植栽マスについては、なるべく早い時期に判断して、植え替えられるところは植え替えるなり、目標を今後決めていきたいと思うので、もう少しお時間をいただきたい。</p> |

| | |
|-------------|---|
| 大貫議員 | 私は、空マスを埋めてしまえと言っているのではなく、空マスをなるべくちゃんと植えてほしいと言っている。少なくとも、桜台の通りは、私が議員になってから、桜台ではなくなってしまう。青葉区全体がそうだと思うので、ちゃんと見て、大変なお金がかかるかもしれないが、やはり青葉区のステータス、まちづくりの評価が上がっているのも、そうしたいろいろなことの積み重ねなので、特に道路の街路樹はきちんと植えるところは植えることが大事であり、駅前だけではないということが言いたいことなのでお願いしたい。 |
| 青木議員 | 緑化フェアをやるに当たって、町中にある緑地も上手に生かしていけたらいいのではないと思う。現状、草ぼうぼうであったり、それなりに整理はされているが美しいという感じではないような緑地もあるので、そのようなところのうまい生かし方、手の入れ方があるといいのではないかと考えている。その辺はいかがか。 |
| 榎土木事務所長 | 土木事務所としてお答えできる範囲は限られてしまうが、今、青葉区内で現況の樹林地として残っているところの多くは民有地であり、環境創造局が進めている横浜みどりアップ計画で地権者と市が契約をして保存するお約束をしている場所が多いかと思う。ただ、基本的に民有地の山林なので、枝を打ったり、草刈りをしたりという手入れがなかなかできていない。横浜みどりアップ計画を所管する環境創造局では、地権者に対する樹林地管理の支援制度を持っているので、ご相談があれば区役所としてもそのような制度をご紹介しますことはできると思う。お困りの地権者がいらっしゃれば、区役所なり土木事務所なりに連絡をいただければと思う。 |
| 青木議員 | 青葉区子育て支援ネットワーク連絡会について、この会に関してはどのくらいのボリュームで行われるのか、どういったことについて話し合われるのかというところをお教えてもらいたい。 |
| 樋田子ども家庭支援課長 | 子育て支援ネットワークについては、全体の連絡会でお呼びするところは、保育園、幼稚園、親と子のつどいの広場、子育て支援者、主任児童委員、地域ケアプラザ、社会福祉協議会、地域療育センターあおば、アートフォーラムあざみ野等を予定している。概要としては、区役所から各機関の子育て状況を報告したり、それぞれの団体からも子育て支援に関するいろいろな意見を伺いたいと思っている。もう一つが、地域による地区エリアがあり、こちらは地域ケアプラザエリアで、現在11地域ケアプラザがあるので、エリアごとに行っていきたいと思っている。エリアによってかなり状況が違うので、エリアごとのニーズに応じた内容、お呼びする方たちも決めていきたいと考えている。具体的に申し上げますと、例えば親が集える場がない、講座開催が少ないといったところなどについて、どのように新しい事業をやっていたらよいのかという相談をさせていただいたり、既に活発に子育て支援のプログラムが行われているところは、情報共有を密にして、より活発に活動できるような方法の検討等をしていけたらと思っている。 |
| 青木議員 | 区内の連絡会について、いろいろな団体の代表を言われていたが、すべて出ているという感じか。それとも、幾つかピックアップしたところになるのか。どのくらいの団体数になるのかボリューム感がわからないので教えてもらいたい。 |
| 樋田子ども家庭支援課長 | 先程申し上げたところは全部お呼びする予定で、区内連絡会が20人弱くらいとなる。 |
| 横山議員 | たばこの禁煙について、国会議事堂等他の状況をみると横浜、神奈川は先進的なのかと思っているが、青葉区は市内で特段喫煙率が低い区なので、その先を行っていただければいけないと思っている。今の区内の規制の状況についてはどうなっているか。 |

| | |
|-------------|---|
| 勝島福祉保健センター長 | 区民意識調査では、青葉区はほかの区域に対して極端に低いという結果が出ている。3月に歯科講演会でも紹介したが、肺がんに対する区民の意識の高さというのがあらわれているのかと思っている。 |
| 横山議員 | 具体的に、禁煙店舗を増やしていくなど今区がやっている取り組みなどがあると思うが、それが増えている状況なのか。頭打ちか。 |
| 藤塚福祉保健課長 | 手元に資料がないので、お答えできない。 |
| 横山議員 | 事業が始まった当初は、毎回私が聞いていたので、答えてもらっていた。だんだん良くなってきていたので最近聞いていなかったが、これから毎回聞くようにする。 他方で、駅前のポイ捨てなどがやはり目立つ。特にあざみ野などちょっとひどい。座るスペースがあるので、そこに座って吸ってしまうのだが、市内の駅周辺での環境はどうか。 |
| 植村資源化推進担当課長 | 昨年、資源循環局で横浜市内の主要駅のポイ捨ての調査を行ったのだが、青葉区のポイ捨て状況、喫煙している方の件数は、余り上位には入ってきていなかった。 また、あざみ野に関しては、月1回、必ず美化推進委員と一緒にポイ捨て禁止のキャンペーンでティッシュを配り、通行される方に啓発活動を行っている。 |
| 横山議員 | そもそも、ほかの区と比較してはだめで、青葉区は断トツでいかななくてはいけない。5、6本でも落ちていると何か汚いなどってしまうものなので、先端に行くぐらいの意識でぜひ取り組んでもらいたい。 あざみ野は、喫煙禁止区域に指定するべきではないかなと思う。指定すると、監視員の配置をするなど予算措置が必要となり、なかなか思い切つてできないかもしれないが、私は指定したほうがいいのではないかなと思う。ぜひご検討いただきたい。 |
| 横山議員 | 青葉区はほかの区と比べるとはるかに行政効率が高く、低い予算で最大の効果を出している。政治家側としては、税金が高いのにこれだけ予算が低いとおおることはできるが、それは未来志向の政治家ではないと思っている。市民にとっても青葉区は最先端を走っていることになるので、ぜひ区長会などで青葉区や港北区を見習えと言っていたきたいが、いかがか。 |
| 小池区長 | 私もそのようなことを言わなくてはいけないと思っている。人口が非常に多く増加している。なおかつ今予算のシーリングがかかっているのので、青葉区や港北区、戸塚区あたりは、当然毎年1人頭の予算額が落ちてきてしまう。 ただ、最少の人数で区役所の職員は頑張っており、納税金額も常に高く、表彰を受けるなど本当に一生懸命やっている。少ない人数、少ない金額の中でしっかりやっているということを言っていきたいと思っている。 |
| 横山議員 | 青葉ブランドの認定について、6月に認定委員を選定するとなっているが、どのような人を選ぶのか。 |
| 小池区長 | 予算の時は具体的には申し上げなかったかもしれない。今委員長は石坂浩二氏に直接頼みに伺い、やっていただけることになっているので内定ということによいかと思っている。 その他の委員は、青葉にゆかりのある有識者やある程度ネームバリューのある方をお願いしているところだ。音楽関係の方であったり、食に精通している方など様々な分野の方に、お願いをしているところだ。 まだ石坂氏の内諾しかとれていないので、誰かというのは今ここで言えないが、ほぼ決まりつつある。それで資料に6月に決定と記載させていただいている。 |

| | |
|-------------|---|
| 横山議員 | 小さい社会なので、色々頼まれてしまうことはあると思うが、そうしたものはねのけ、人気がなかったり知らなかったりしたとしても、これは青葉にとっていいなというようなものを吸い上げられる選定にしてもらいたい。他の賞などで、皆知っているがどうなのかと疑問に感じることもあるので、そうしたことにならない様にきちんと公平公正にやってもらいたい。そうすると賞の信頼度が出てくると思う。本当に青葉区としてこれはお勧めですよというようなものを、ぜひ選んでいただきたいと思う。 |
| 小池区長 | 審査委員の方は、我々が何と言ってもこうだという方が揃うと思うので、きちんとやっていきたい。 |
| 横山議員 | 郵便局による証明発行窓口サービスモデル事業について、今年度で終わりというようなことになるのは仕方がないことだと思うが、先駆的な事例であり非常に意義があると私は思っている。毎回このためだけに市会に議案提出するというようなことなので、コンビニ移行までのサービスということだと思うが、非常にいいサービスだったので、この検証をぜひやってもらいたいと思うがいかがか。 |
| 大野副区長 | コンビニ発行が来年1月から始まるということで、終わる方向で地元の方々と交渉を始めさせていただいている。ただ、地元の皆さんからもコンビニで発行してもらえればさらに便利になるという評価はいただいているところではある。これまでも郵便局での発行というのは、地元の皆さんに非常に喜んでいただいていた事業でもあるので、最終的にどのような形になるかはわからないが、事業をまとめた形で総括をしたいと考えている。 |
| 横山議員 | 青葉スポーツプラザに関して、充実をしていくのは非常にいいことだと思っているが、最終的な目標は谷本公園の完成としなくてはならない。青葉スポーツプラザの充実だけで終わらせず、その先をぜひ頑張っていたいただきたいのだが谷本公園の進捗はどうか。 |
| 大野副区長 | 谷本公園については、まだ一部の用地の買収が進んでいないということがあがる。そのような中で、昨年4月にまだ開園されていない部分の一部を使って、多目的グラウンドを環境創造局で整備してもらった。現在は、そちらを一般に利用してもらっているところだが、これは市全体としても谷本公園全体の買収を目標にしているので、さらに用地の買収について進めてもらえるよう我々もお願いしていく。 |
| 横山議員 | 強制的に買い上げるなどのやり方が本当にスポーツ公園でなじむのかという問題や、相手のある話でもあり長期戦になってしまってきているようなところがある。もう少し、打開できるようなことを具体的にやっていかないといけないのではないかなと思うがどうか。 |
| 大野副区長 | 環境創造局と連携して、事業の進捗を図っていききたいと思っている。 |
| 小池区長 | 環境創造局の方も、これはブレーキをかけている事業ではないので、改めてまた環境創造局長にも伝えておく。 |
| 大貫議員 | 田園都市線のホームドアは、2020年までに設置するとなっていたが、どうなっているのか。鉄道自殺が多く発生していることなどを考えたときに、これは早く何回も言わないと、進まないような気がするがどうか。 |
| 吉田区政推進課担当課長 | 青葉区としては、東急に具体的にという話は今のところしていないが、都市整備局では東急と連絡を密にして、働きかけをしているところである。 |

| | |
|-------|--|
| 大貫議員 | 緑区も走っているが、一番走っているのは青葉区なので、青葉区が田園都市線の問題を言わないと進まないと思う。期待しているので青葉区としてもぜひやってもらいたい。 |
| 大野副区長 | 前任の課長時代に、東急電鉄に青葉区内の整備の実現について確認しているので、またやっていきたい。 |
| 大貫議員 | 市ケ尾周辺のバリアフリーのまちづくりについて、さまざまなことを研究してやっていたと思うが、何がどうなっているのかというのがこちらへまだ来っていない。 特に、市が尾駅から246に出てくるところにスロープがないが、これは法律的な問題で、主道路、一番主な通路にきちんとしたバリアフリーの施設をつくらなければいけないというのがあったと思う。これは要望として聞いてもらえればいいので、市ケ尾のまちづくりをやった結果、きちんとどのようにそれが反映して、どうなったのかということ、この次でよいので報告してもらいたい。 |
| 大貫議員 | 先ほど青葉区は少ない人数で効率的にやっているという話があり、私もその通りだと思うが、同時に皆さん疲れているのではないかと、大変なのではないかなと思っている。 少なければ少ないほどいいというのではなく、適正な人数が必要で、そこを履き違えてはいけないということを私はちゃんと言っておかなければいけないと思う。本当に職員の皆さんが過労、オーバーワークになってしまうのではまずい。 健康保険や市民税などの相談窓口で職員の人数が少なくなると、どうしても1人当たりの対応時間が短くなってしまいます。親切にやろうと思っても、やることはやるが粗雑になってしまうということがあります。意思の疎通がうまくいかなく進まないという場合もあり得るので、適正な職員数ということも考えながら、その上で効率よくするという立場に立ってもらいたいと思う。 |
| 横山議員 | バリアフリー化について、電線の地中化が決まったと思う。環状4号線のバイパスのところが約640メートル、市ケ尾から区役所まで、これは区役所の周りのケーブルを一度工事中に切断してしまって、区役所の機能が麻痺してしまったということが発端で、区役所の周りの安全対策もやりましょうということになった。 これは、消防署の横の第2駐車場の前のケーブルも、全部地下に入るので、例えば新年の出初め式など、公会堂側から見ている人は全く線のない中で見られるので、ものすごく効果が大きいと思う。目に見える効果だと思うので、ぜひ広報などに載せて、電線の地中化ができることのような効果があると広報してもらいたいと思う。 もう1点、熊本地震の際に、私は熊本の被災状況の視察で1カ月後ぐらいに行かせてもらい、各拠点等をいろいろ回ったが、区役所の職員を何人も見かけた。熊本へ派遣された職員の情報や話を区民の人たちは知りたいと思うので、職員の皆さんが報告会のようなものを、連合単位でやれば一番いいが、地域ごとぐらいでもやって、これからの防災についての課題のようなところを、区民と具体的な話し合いなどやってみたらいいのではないかなと思うがどうか。 |
| 小池区長 | 前段の広報の件は検討したいと思う。 後段の熊本地震の件は、本日の議員団会議でいろいろなご報告も含めて、防災については議員の皆様方にご意見を伺いたいと思っている。 地域防災拠点の運営委員長等が集まったところでは、まさに横山議員がおっしゃっているように、熊本に行った総務課の職員が直接状況をお話しさせていただいた。それをもう少し地域レベルでというお話なので、検討してみたいと思う。 地域によっては、熊本の話を聞きたいという連長さんがいらっしゃるので、そのようなところを含めて検討していく。 |

| | |
|----------|--|
| 中山議員 | <p>要望だが、地域での読書活動の推進について、だんだん年齢が上がるにしたがってスマートフォンを持つ子供が増えて、例えば移動のときも本を読むのではなくて、スマートフォンでゲームをしたり、電車などに乗っていると、本を読んでいる子はほとんど見かけない。</p> <p>小学校高学年から中学、高校でだんだん本から離れていってしまうような気がするが、ちょっと本から離れてしまうような本を読んだらいいのかとなってしまうので、ぜひ子供たちへの読書の啓発、本の紹介などをしてもらいたいと思う。</p> |
| 功刀地域振興課長 | <p>読書活動の推進ということで条例ができた後、目標をつくって行っているが、図書館で小中学生向けにそれぞれ分けて、推薦の本を紹介するなどの取組を行っている。</p> <p>さらに各学校においても、夏休みに向けて取り組んでいる。また学校の司書が青葉区内の全校についているので、学校内でも司書の対応ができていているという話は聞いている。</p> |
| 中山議員 | <p>中小企業地域活動、女性起業家の講演会について、女性が一度結婚、子育てで離職してしまうと、働きたいと思っている女性は沢山いても東京への通勤、通勤時間や子供を預けるなどいろいろ考えて二の足を踏んでしまう。</p> <p>青葉区は優秀な女性がたくさんいるので、ぜひ、区内や市内で働いてもらい横浜市に循環していくようなよい状況ができたらと思う。</p> <p>女性起業家の講演にプラスして、青葉には女性が働く場所があるということアピールしていただけたらと思う。</p> |
| 功刀地域振興課長 | <p>女性の起業家の講演会は昨年度から実施しているが、今年度も企画中であざみ野の男女共同参画センターと一緒に行っていこうと、第1回の打ち合わせを行った。</p> <p>先ほど中山議員も言われたように、女性の働く場所についても、これから我々も勉強させていただき、要望にこたえられるよう考えてみたいと思っている。現段階ではアイデアがないので、またいろいろ教えていただき、男女共同参画とも話をして進めていければと思っている。</p> |
| 中山議員 | <p>うまくマッチングできたらいいなと思う。</p> |
| 小池区長 | <p>中山議員が言われたこととは少し違うかもしれないが、女性活躍の意味で、わが区に職場があるということは重要だと思う。非常に優秀な女性の人材がたくさんいるので、いわゆるサテライトオフィスというものが青葉区にあれば、東京の会社に勤務しながら、ここで生活できて仕事もできる可能性も出てくる。</p> <p>東急電鉄などでも、そのようなことを始めているエリアもあり、青葉区の場合はビルのようなスペースが少ないという課題はあるが、たまプラーザのまちづくりでもそのような検討もあり、地元企業でなくても、大手のサテライトなどもあわせて何らかの形で働く場をつくっていかなければいけないのではないかなということもお願いしている。</p> |
| 藤崎議員 | <p>オープンデータのところで、確かにトップページからリンクを張ってあったが、「なるほどあおば」側にリンクがないので、オープンデータ側からは「なるほどあおば」に飛ぶけれども、「なるほどあおば」側からオープンデータには飛ばない状態になっていた。そこはやはり両方飛ぶようにした方がよいと思うのでお願いしたい。</p> |
| 山下議員 | <p>生ごみの堆肥化の件について伺いたい。先般他の区でキエーロというのを進めていこうかという話があった。いろいろ聞いたところによると、これは大き目の箱が必要で、においがしないので、今やっているボカシなどよりも、戸建て住宅が多い青葉の地域に合うのではないかなと思う。青葉区は割といろいろ進んでいる地域だと思うが、このキエーロで青葉区でも取り組むというのはどうか。</p> |

| | |
|-------------|---|
| 植村資源化推進担当課長 | キエーロは、生ごみキエーロといって、生ごみが消えてくれるというものだが、今のところ予算的には考えておらず、先ほど山下議員がいわれたEMボカシを使った講座を2回ほど開いたりしているところだ。資源循環局の方では、土壌混合法という形で進めたいと思っているところではあるが、今お話しいただいたので、次年度予算でキエーロが使えるかどうか、いろいろ資料を見ながら、今後検討していきたい。 |
| 山下議員 | 新しいものに関心を持つ区民も多いと思うので、もし効果的なもので爆発的に広がれば、3Rの推進につながると思う。少しご検討いただければと思う。 |
| 山下議員 | 介護予防の推進事業というのは非常に重要な事業の1つだと思っている。その中でエンディングノートの作成というのがあるが、エンディングノートと介護予防がどのようにつながるのかわからないので教えてもらいたい。 |
| 室山高齢・障害支援課長 | 資料のどこに置こうかという感じで、エンディングノートを介護予防推進事業に置いているところなのだが、エンディングノートの対象者を、リタイア前後の方というように考えている。これからご自分の第2の人生をどのように生きていこうかといったときに、まずは健康ということに関心を持っていただきたいということで、介護予防のほうに入れている。エンディングノートをもう少し広くとらえていければいいかなとは考えているが、介護予防推進事業に置いた理由としては、そのようなことである。 |
| 山下議員 | このエンディングノートは、恐らくいろいろな使い方ができると思う。今、全体的にもというか、日本中で問題になっている空き家問題も、根本をたどると相続だと思う。このエンディングノートをうまく活用することによって、相続をスムーズにできるということや、空き家の対策も含めて、いわゆる終末期をどう迎えるか等意思を表明しているところなどはなかなかないので、エンディングノートを活用してほしい。 そのような意味では、エンディングノートを積極的に使っているのは、行政書士会だと思うので、役所が言いづらい「亡くなった後どうするのか」というような話について行政書士会などの様々な専門家集団と連携をとっていくというのも1つの手だと思うが、いかがか。 |
| 室山高齢・障害支援課長 | この内容の検討に当たっては、サポートネットという成年後見制度を検討している会が18区にあり、そちらの弁護士、行政書士、司法書士、社会福祉士の方々にも、この検討に入らせていただいている。 もう少し具体的になった段階でまた報告していきたい。 |
| 山下議員 | 緑化フェアについて、1人1鉢の活動というのが今回出てきているのが、どのくらいの規模で、どのくらいの家庭に配る予定なのか。 |
| 小池区長 | 1鉢の活動は、ある程度配るかもしれないが、配る発想ではなくこのフラワーネックレスの期間は、玄関先や門の前に1鉢でもいいから出していただき、それによって青葉区全体が花でいっぱいになっているという状態をつくるようなムーブメントを、自治会町内会や商店街にもお願いしてやろうということ考えている。 その若干の起爆剤になるような配付をやるかと思っているが、膨大な予算があるわけではないので、一鉢の活動では区民の皆さまにお配りするという発想ではなく、ご自分の花をぜひという運動にしたいと思っている。 |
| 藤塚福祉保健課長 | 先ほどお答えできなかった、喫煙の件についてお答えしたい。データが平成25年度のもので古いですが、40代の男性では27.8%で市内では一番低い喫煙率になっている。女性も同じように、10.8%で市内では一番低い喫煙率になっている。各店舗の喫煙状況については、横浜健康応援団という事業で、終日禁煙をやっている店舗が80店舗登録されている状態。経過としては横ばい状態で、これらの店舗をもう少しふやしていかなければいけないと思っている。 |

横山議員

店舗の数は現在の数だと思うが、大体頭打ちできているのはよくわかるが、まだたくさん店舗はあるわけで、実質的に喫煙の環境のないお店も、まだ指定されていないところもある。これはやはり、足で稼ぐか、広く広報して参加を求めかをしていく努力が必要なのではないかと思う。来年も聞くので、どれぐらい上がったかまた教えてもらいたい。